

クリーンセンター鹿島〔トンネル式地下下水処理施設〕

施設管理者 : 松江市上下水道局
施設所在地 : 島根県鹿島町（現在松江市）
調査見学時期 : 平成 14 年 11 月 6 日
施設概要

島根半島中央部鹿島町の海岸近くにこの処理施設があります。立地条件の制約があつて国内で初めて、トンネルを構築してその中に造られた下水処理施設です。規模は大きくありませんが、環境保全対策（臭気、景観など）の観点からももっとこうした形式の施設が増加してくると良いと思いました。（G E C ニュース第 1 5 9 号より抜粋）

クリーンセンター鹿島（トンネル方式下水処理場）

施設管理者 ： 松江市上下水道局
施設所在地 ： 島根県鹿島町（現在松江市）
調査見学時期 ： 平成 10 年 11 月 13 日

施設概要

鹿島町の恵曇・古浦地区は、海岸線近傍まで山が迫っている漁港特有の狭隘な地形に加え、住宅が密集した地区となっています。このため平成 7 年から供用が開始された“クリーンセンター鹿島”は、我が国初のトンネル方式「クリーンカプセル」による下水処理場として建設されました。最大処理能力は 2,150m³/日で、処理方式は酸素活性汚泥法となっています。当日は、トンネル内にて説明を伺いましたが、そこでの無臭性と静粛性には目を見張るものがありました。地元と融和し、自然環境保護および景観保全などへ配慮した施設であり、また、海の近傍にもかかわらず、設備がトンネル内にあるため塩害を受けにくく、メンテナンス上も有利であるとのことでした。（G E C ニュース第 1 1 1 号より抜粋）

クリーンセンター鹿島

施設管理者 : 島根県鹿島町（現在松江市）

施設所在地 : 島根県鹿島町（現在松江市）

調査見学時期 : 平成7年11月30日（木）

施設概要

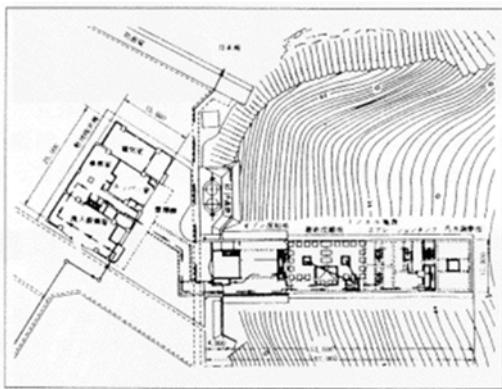
島根県東部では最大規模の恵曇漁港のある恵曇、古浦地区の住宅密集地を中心に処理面積93.5㌥と、処理人口4,230人を対象とする日本で初めてのトンネル方式（クリーンカプセル）による下水処理場で「クリーンセンター鹿島」と命名され平成4年10月に供用開始されました。

この方式を採用した理由は、①漁港の町特有の狭い平地に家屋が密集しており、適当な空地の獲得が困難であった。②総建設コストは平地に建設される処理場に比べ大差がないこと。③トンネル内に臭気の発生源である水処理施設を収納するため、環境や外観の上で好都合である。等が上げられます。

実際、トンネル施設（10.0mW×57.0mL×12.0mH）を利用することにより、建設面積が従来の約半分の土地で済むということで、今後たいへん有効な土地利用法であると感じられました。

今回、施設の案内および説明をして頂いた、鹿島町上下水道課の山本様をはじめ関係者の方々に改めて紙上を借りてお礼申し上げます。

なお、現在神奈川県三浦郡葉山町でもトンネル方式（クリーンカプセル）の利点を生かし、計画処理面積620㌥、計画処理人口36,300人の処理施設を建設中です。（GECニュース第77号より抜粋）



恵曇処理場の平面図



水処理施設入り口付近